

リフォーム店の在り方を討論



▲3社の社員がチームを組
み1つのテーマでディス
カッションを行い、それ
ぞれ発表する

▶さくら住宅の
二宮生憲社長

能力も養う機会となつて
いる。また、他社と合同
で目標を再確認すること
で、今後勤務する際のモ
チベーションアップにも
つながっているようだ。
グループディスカッシ
ョンのほか、午前中には、
講演を行い、本紙リフォ
ーム産業新聞の代表加覧

地域でリフォーム業を手掛けるさくら住宅（神奈川県横浜市）・住まい工房やまぎし（福島県福島市）・グッディーホーム（東京都武蔵野市）の3社は、1月6日（木）、社員の自己啓発を目的とした三社合同会議を八重洲ビジネスセンター（東京都中央区）にて行った。

この会の目的は、理想のリフォーム会社にしていく為に、安心・信頼をされ、地域社会に必要とされるリフォーム会社になるためには各自がどんな思いで行動していくべきかを考えるというものだ。3社の社員33名を混合し、AとBグループに分けたグループ発表では、各グループが、「理

想の生き方をするためには」「理想のリフォーム会社になるには」の2つのテーマ別に20〜30項目を到達度を考察するなどし、挙げた。発表後には、抽象的な箇所や矛盾点項目を達成するために具体的に何をすべきかなど、さくら住宅二宮社長・グッディーホーム卯月社長・住まい工房やま

ぎし山岸社長の指摘を受ける場面も見られた。本会は、社員にとって普段接することのない他社の社員と話し合い考えをまとめることでコミュニケーション能力、まとめの考えを端的に伝えていくプレゼンテーション

光次郎が、「リフォーム業はこんなに素晴らしい」をテーマに、2部では、NBCコンサルタンツ安室部長が「なぜ報連・相が必要なのか」を講演した。同業者同士の交流も兼ねた本会は今回で2回目。今後も継続的に行われる予定だ。